

21 オリジナルテーマの作成 3

10. サイドバーをウィジェット化する

10-1. ウィジェットエリアを追加する

ウィジェットとは、「最新の投稿一覧」や「アーカイブ一覧」「検索フォーム」などの独立したパートのことを指します。

ただし、WordPress の初期設定ではウィジェットエリアは有効になっていないため、テーマ側で有効化する必要があります。

最初に、ウィジェットエリア機能を有効化する下準備（関数の定義）をします。

テーマフォルダーの functions.php に、オリジナルテーマ独自のウィジェットエリア用の関数を記述します。

```
functions.php
↓任意の文字列
function original_widgets_init() {
// ここにウィジェットエリアの指定を追加
}
add_action( 'widgets_init', 'original_widgets_init' );
```

次に、サイドバーのウィジェットエリアを追加します。ウィジェットエリア追加には、「register_sidebar0」関数を使います。（サイドバーだけでなくフッターなどでも同じ関数を使ってウィジェットエリアを追加できます。）

register_sidebar0 関数は、引数に連想配列を記述し、ウィジェットエリアの設定を行います。

例：

```
function original_widgets_init() {
register_sidebar(
array(
'name'    => 'サイドバー', // ウィジェット管理画面に表示されるウィジェットエリアの名称（任意の名前）
'id'      => 'widget-area', // ウィジェットエリアの識別子（任意の文字列）
'description' => '〇〇のサイドバー', // ウィジェット管理画面に表示されるウィジェットエリアの説明（任意の名前）
'before_widget' => '<div id="%1$s" class="%2$s">', // ウィジェットエリアに登録されたブロックの直前に出力される HTML。「%1$s」には
                                         「block- 番号」、「%2$s」には「widget_block」とブロックが入る（任意）
'after_widget' => '</div>', // ウィジェットエリアに登録されたブロックの直後に出力される HTML（任意）
)
);
}
add_action( 'widgets_init', 'original_widgets_init' );
```

しかし、今回はウィジェットエリアを 3 つ追加したいのですが、上記の方法を 3 回繰り返さずとも、同じようなウィジェットエリアを複数追加する場合は「register_sidebars」関数を使用します。「register_sidebars(ウィジェットエリア数, オプション)」となります。

```
functions.php
function original_widgets_init() {
// フッター・サイドバーウィジェットエリア
register_sidebars(
3,
array(
'name'    => 'サイドバー %d',
'id'      => 'widget-area',
'description' => 'サイドバーのウィジェットエリア',
'before_widget' => "", // デフォルトの html 表示を消去
'after_widget' => "", // デフォルトの html 表示を消去
)
);
}
add_action( 'widgets_init', 'original_widgets_init' );
```

`register_sidebars0` 関数のオプションは、単一のウィジェットエリアを登録する (`register_sidebar0`) 関数とほぼ同じですが、`name` の値に「%d」が追加されています。`%d` には、数字が連番で出力され、それぞれのウィジェットエリアは「サイドバー 1」「サイドバー 2」「サイドバー 3」となります。また、各フッターウィジェットエリアの識別子 (ID) は、「widget-area」「widget-area-2」「widget-area-3」となります。サイト側にウィジェットを表示する際にこの識別子が必要となります。

`functions.php` を保存し、WordPress 管理画面から [外観]>[ウィジェット] を確認します。フッターウィジェットエリアが 3 つ追加されています。

10-2. ウィジェットエリアにブロックを追加

メニューの [外観]>[ウィジェット] からウィジェット管理画面を開き、ウィジェットを登録します。

ウィジェットエリアの + をクリックしブロックエディターで、

「サイドバー 1」には「最新の投稿」ブロック

「サイドバー 2」には「タグクラウド」ブロック

「サイドバー 3」には「アーカイブ」ブロック

を追加します。



10-3. ウィジェットエリアの内容を出力する

ウィジェットエリアの内容を出力する「dynamic_sidebar()」関数を使い、公開サイト側に表示させます。サイドバー ウィジェットエリアの内容を出力するには、dynamic_sidebar() 関数の引数に register_sidebar() 関数で指定した識別子「widget-area」を指定し、
`<?php dynamic_sidebar('widget-area');?>` と記述します。

さらに、ウィジェットが登録されている場合のみ出力されるように、「is_active_sidebar()」関数で条件分岐をします。こちらもサイドバー ウィジェットエリアの識別子を引数にし、`<?php if(is_active_sidebar('widget-area')) :?>～<?php endif; ?>` と記述します。

sidebar.php と footer.php の該当箇所に記述していきます。

※今回は、出力後の内容に対してウィジェット用にcssを調整します。

sidebar.php 変更前

```

<aside class="sidebar">
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> 最新の投稿 </h2>
    <ul class="archive__list">
      <li class="archive__item">
        <a href=""> タイトルが入ります </a>
      </li>
      ~省略~
    </ul>
  </div>
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> タグ </h2>
    <div class="tag__list">
      <a class="tag__item"> タグ </a>
      ~省略~
    </div>
  </div>
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> アーカイブ </h2>
    <ul class="archive__list">
      <li class="archive__item">
        <a href="">2021 年 3 月 </a>
      </li>
      ~省略~
    </ul>
  </div>
</aside>

```

sidebar.php 変更後

```

<aside class="sidebar">
  <?php if ( is_active_sidebar( 'widget-area' ) ) : ?>
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> 最新の投稿 </h2>
    <?php dynamic_sidebar( 'widget-area' ); ?>
  </div>
  <?php endif; ?>

  <?php if ( is_active_sidebar( 'widget-area-2' ) ) : ?>
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> タグ </h2>
    <div class="tag__list">
      <?php dynamic_sidebar( 'widget-area-2' ); ?>
    </div>
  </div>
  <?php endif; ?>

  <?php if ( is_active_sidebar( 'widget-area-3' ) ) : ?>
  <div class="sidebar__cont">
    <h2 class="sidebar__ttl"> アーカイブ </h2>
    <?php dynamic_sidebar( 'widget-area-3' ); ?>
  </div>
  <?php endif; ?>
</aside>

```

footer.php 変更前

```
<footer class="footer">
<div class="content content--large">
<div class="footer__inner">

<div class="footer__item">
<h2 class="footer__item-ttl"> 最新の投稿 </h2>
<ul class="archive__list">
<li class="archive__item">
<a href=""> タイトルが入ります </a>
</li>
～省略～
</ul>
</div>

<div class="footer__item">
<h2 class="footer__item-ttl"> タグ </h2>
<div class="tag__list">
<a class="tag__item"> タグ </a>
～省略～
</div>
</div>
～省略～
```

footer.php 変更後

```
<footer class="footer">
<div class="content content--large">
<div class="footer__inner">

<div class="footer__item">
<?php if ( is_active_sidebar( 'widget-area' ) ) : ?>
<h2 class="footer__item-ttl"> 最新の投稿 </h2>
<?php dynamic_sidebar( 'widget-area' ); ?>
<?php endif; ?>
</div>

<div class="footer__item">
<?php if ( is_active_sidebar( 'widget-area-2' ) ) : ?>
<h2 class="footer__item-ttl"> タグ </h2>
<div class="tag__list">
<?php dynamic_sidebar( 'widget-area-2' ); ?>
</div>
<?php endif; ?>
</div>
～省略～
```

※補足 /assets/sass/_page.scss 372 行目あたり

```
/* archive
----- */
```

```
// WordPress 用に変更
.wp-block-latest-posts__list,
.wp-block-archives-list {
  li {
    border-bottom: 1px solid clr.$clrGry;
    a {
      display: block;
      padding: .5em 0;
    }
  }
}
```

```
/* tag
----- */
```

```
.tag {
  &__list {
    display: flex;
    flex-wrap: wrap;
    align-items: center;
    // WordPress 用に変更
    a.tag-cloud-link {
      color: clr.$clrMain;
      border: 1px solid clr.$clrMain;
      display: inline-block;
      text-align: center;
      margin: 0 5px 5px 0;
      font-size: 14px!important;
      padding: 0 12px;
      height: 32px;
      line-height: 30px;
      border-radius: 12px;
      @media screen and (max-width: 767px) {
        font-size: 12px!important;
        padding: 0 6px;
        border-radius: 6px;
        height: 25px;
        line-height: 23px;
        margin: 0 8px 8px 0;
      }
    }
  }
}
```